

柴山 志穂美（実践教育センター、保健福祉学部兼務）**1 著書****2 学術論文**

- 1) 柴山志穂美. (2023 年). 特別企画 変化する社会で次世代に向けたケアマネジメントを考える. ケアマネジメント学, 第 22 号, p106-108.

3 その他の著作

- 1) □赤羽学, 大茅賀政昭, 山口佳小里, 中西康裕, 柴山志穂美, 西岡祐一, 次橋幸男. 令和 5 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業) 医療および介護レセプトデータ分析による在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究報告書.
- 2) 柴山志穂美. 第 23 回研究大会のご案内, 一般社団法人日本ケアマネジメント学会 News 45 号.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本老年学会将来計画委員会委員 (通年)
- 2) 日本ケアマネジメント学会評議員 (通年)
- 3) 日本ケアマネジメント学会第 23 回研究大会大会長 (令和 4 年 6 月～令和 6 年 6 月)
- 4) 日本ケアマネジメント学会理事 (通年)
- 5) 日本ケアマネジメント学会学会誌編集委員 (通年)
- 6) 日日本ケアマネジメント学会学会誌査読委員 (通年)
- 7) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 認定介護福祉士養成研修認証委員会科目審査委員 (通年)
- 8) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 認定介護福祉士養成研修認証部会委員 (通年)
- 9) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 認定介護福祉士認定研修基準検討部会委員 (通年)

5 社会貢献

- 1) 神奈川県訪問看護ステーション協会研修委員会オブザーバー (通年)

6 講演, 放送

- 1) 学研 e-ラーニング講師, 褥瘡をつくらない介護の考え方教えます (通年)
- 2) 東京都教育委員会令和 5 年度介護福祉等に係る講習会. ころとからだの理解「認知症の理解」(令和 5 年 8 月 28 日)
- 3) 一般社団法人北海道介護福祉士会 令和 5 年認定介護福祉士養成研修. 医療に関する領域 [疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ] (令和 5 年 9 月 17 日-18 日)、講義・演習, 筆記試験、事前・事後レポート評価
- 4) 公益法人日本看護協会. 2023 年度認定看護師教育課程 (B 課程) 認知症の人のケアマネジ

メント、認知症における連携システムづくり 3) 市町村等の自治体や地区医師会等との連携 (令和 5 年 9 月 21 日)

- 5) 令和 5 年度 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務研修「ファシリテーションを活かした専門職の力を引き出す会議運営のコツ」(令和 5 年 12 月 13 日)
- 6) 広島市域居宅介護支援事業者協議会研修会、「病院と地域をつなぐケアマネジメントー入退院に伴う病院との付き合いのかたのコツ」、事例発表会講評 (令和 5 年 12 月 17 日)
- 7) 一般社団法人日本ケアマネジメント学会 関東認定ケアマネジャーの会研修会「生活と医療の視点を踏まえたケアマネジメントを行うための、主治医との連携や入退院時の情報連携の在り方について」(令和 6 年 1 月 20 日)
- 8) 2023 年度認定介護福祉士更新研修/日本介護福祉士会「認定介護福祉士に求められるファシリテーションとリーダーシップ～実践力を鍛える～」(令和 6 年年 2 月 10 日)

7 学会等での活動

- 1) 日本ケアマネジメント学会第 22 回研究大会一般演題発表・口頭発表「多職種連携・協働」座長 (令和 5 年 6 月 17 日)
- 2) 日本ケアマネジメント学会第 22 回研究大会公開講座「在宅生活を安心して過ごすための医療・福祉・介護の連携」座長 (令和 5 年 6 月 18 日)
- 3) 第 14 回日本臨床栄養代謝学会 首都圏支部学術集会.患者の願いを叶えるためのリハと栄養ー看護専門職として考えるー「地域での望む生活を実現するための看護のマネジメント～栄養・リハビリテーションとの連携～」シンポジスト (令和 5 年 5 月 27 日)
- 4) 第 82 回日本公衆衛生学会総会、一般示説 (P-0703-1～0703-4)、座長
- 5) 第 82 回日本公衆衛生学会総会、一般示説、在宅医療・介護連携推進事業の評価を行うための指標選定に向けた臨床的視点の整理、○柴山志穂美, 大冢賀政昭, 山口佳小里, 赤羽学 (令和 5 年 11 月 1 日)
- 6) 第 82 回日本公衆衛生学会総会、一般示説、在宅医療・介護連携推進に向けた在宅介護サービス受給の自治体規模別の状況分析、○山口佳小里, 大冢賀政昭, 柴山志穂美, 赤羽学 (令和 5 年 11 月 1 日)

8 学内教育活動

【実践教育センターでの教育活動】

- 1) 認定看護管理者養成課程セカンドレベル、ヘルスケアシステム論Ⅱヘルスケアサービスにおける多職種連携 (4 時間)
- 2) 教員・教育担当者養成課程 (介護コース)、社会福祉学「多職種連携とチームマネジメント」(4 時間)
- 3) 介護福祉士実習指導者講習会、実習指導の方法と展開「模擬カンファレンス」(2 時間)
- 4) 医療と地域生活をつなぐ多職種連携研修: 演習①②③「自職場や地域の課題抽出」「実践計画の立案、修正」「実践発表」(18 時間)、臨地実習指導 (2 施設、20 人)、実習報告会 (4 時間)、実践報告 (4 時間)
- 5) FD/SD 部会とカリキュラム検討部会の共同開催「実践教育センターの教育事業を創造する会」を 2 回開催、第二期中期計画に向けた実践教育センターの教育事業のあり方について

- 6) 公開講座（5月18日）「ヤングケアラーに寄り添うために～ヤングケアラーを知ることからはじめよう～」座長

9 学内各種委員会活動

【実践教育センター地域ケア教育部長としての活動】

- 1) 実践教育推進委員会委員
- 2) 実践研究推進委員会委員
- 3) カリキュラム検討部会部会長
- 4) 感染管理認定看護師養成課程入試委員会委員
- 5) 感染管理認定看護師養成課程入試作問部会委員
- 6) 教員・教育担当者養成課程（介護コース）科目編成主任
- 7) 保健福祉大学大学誌査読

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 令和5年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）医療および介護レセプトデータ分析による在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究、（500万円、研究代表者一括計上）研究代表者：赤羽学，研究分担者：大冢賀政昭，山口佳小里，中西康裕，柴山志穂美，西岡祐一，次橋幸男
- 2) 令和5年度文部科学省科学研究費助成事業、挑戦的研究（開拓）、ICD-11の特性を生かした地域連携クリティカルパスの開発及び導入効果の検証、（30万円）研究代表者：大冢賀政昭、研究分担者：山口佳小里，柴山志穂美，星佳芳，佐藤洋子，木村映善，西大明美，上野悟，松田彩子

11 学内研究助成金の受託

12 受賞

- 1) 優秀賞受賞：日本ケアマネジメント学会第22回研究大会.入退院支援を通じた生活機能サマリー活用のための現状と課題～ガイドラインの開発に向けた実態把握～.口演
○柴山志穂美，大冢賀政昭，山口佳小里，坂田薫

13 特許など

14 その他

- 1) 厚生労働省 令和4年度老人保健事業推進等事業，適切な介護教員講習会の実施に向けた環境整備に関する調査研究事業.アンケート協力，運営担当者グループインタビュー協力（令和5年10月5日）

松永 早苗（実践教育センター 兼 保健福祉学部、大学院保健福祉学研究科兼務）**1 著書**

- 1) 松永早苗, 山本光昭, 石原美和, 前田光哉, 他, (2023). 健康支援と社会保障制度④ 関係法規. がん基本対策法, がん登録者の推進に関する法律, 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中, 心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法, 難病の患者に関する法律. メヂカルフレンド社.
- 2) 松永早苗. (2024). 連載: 私を変えたあの一言 「風林火山」疾如風 徐如林 侵掠如火 不動如山. INFECTION CONTROL Vol33. MC メディカ出版.

2 学術論文

- 1) Miwa Ishihara, Sanae Matsunaga, Rubana Islam, Ogusa Shibata, Ung-il Chung (2024) A policy overview of Japan's progress on dementia care in a superaged society and future challenges, Global Health & Medicine, 6(1), 13-18.
- 2) 久保典子, 松永早苗. (2024). 看護専門学校教員の研究環境と研究活動の現状に関する文献レビュー. 神奈川県立保健福祉大学, 21(1), 55-62.

3 その他の著作

なし

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 独立行政法人国際協力機構・国際緊急援助隊感染症対策チーム (2016～現在)
- 2) 一般社団法人日本国際看護学会理事, 研究委員長 (2020～現在)
- 3) 独立行政法人国際協力機構青年海外事務局 JICA 海外協力隊技術専門委員 (2020～現在)
- 4) 神奈川県災害支援ナース登録 (2023 年 4 月～2024 年 3 月 31 日まで)
- 5) 日本感染管理ネットワーク教育委員 (2023 年～現在)
- 6) 感染管理認定看護師教育課程 (B 課程) 受講試験審査会委員 (2023 年～現在)

5 社会貢献

- 1) 東北福祉大学健康科学部保健看護学科, 国際看護論「災害時の感染対策 青年海外協力隊の経験, 新型コロナウイルス感染症」を担当: 1 コマ (90 分授業).
- 2) 公立大学法人福島県立医科大学大学看護学部 国際看護学を担当: 15 コマ (60 分授業).
- 3) 神奈川県健康医療局医療危機対策本部のコロナクラスター対策チーム (C-CAT) として定期情報交換会やクラスター対策を実施した.
- 4) 横浜中央看護専門学校 3 年生, 看護の統合と実践Ⅲ国際看護を担当: 8 コマ (90 分授業)
- 5) 公益財団法人星総合病院高度専門教育センター感染管理認定看護師教育課程 (B 課程) 感染管理学「パンデミック・災害における感染管理認定看護師の役割」の講師, 4 コマ

6 講演, 放送

- 1) 令和 5 年度 社会福祉専門講座 4「施設内の感染症予防 (高齢者施設・障害者施設編)」研修の講師, 主催: 社会福祉法人山形県社会福祉協議会山形県社会福祉研修センター (2023

年 7 月 6 日実施)

- 2) 令和 5 年度 社会福祉専門講座 5「施設内の感染症予防（保育所編）」研修の講師，主催：社会福祉法人山形県社会福祉協議会山形県社会福祉研修センター（2023 年 7 月 7 日実施）
- 3) 令和 4 年度 介護 サービス相談現任研修 I「高齢者の感染症予防と熱中 症予防」研修の講師，主催：特定非営利活動法人地域共生政策自治体連携機構（2022 年 10 月 5 日）
- 4) 「生活における感染予防」の講師，社会福祉法人城山学園への出前講座。

7 学会等での活動

- 1) 福田里美，黒木利恵，竹村美歩，松永早苗．神奈川県における 高齢者福祉施設等を対象とした 感染予防リーダー育成研修の報告，第 11 回日本感染管理ネットワーク学会学術集会口演，2023 年 5 月 20 日
- 2) 松永早苗．新型コロナウイルス感染症における偏見・差別に関する文献レビュー，第 38 回日本環境感染学会学術集会口演，2023 年 7 月 21 日
- 3) 松永早苗、渡邊千登世、石原美和.病院から地域へ在宅看護サービスのアクセシビリティ向上要素を探究する調査，日本ソーシャル・イノベーション学会第 5 回年次大会ポスター発表，2023 年 9 月 24 日
- 4) 渡邊千登世，石原美和，松永早苗，中村由佳，柴田三奈子．在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策提言～アカデミアの果たす役割～，第 43 回日本看護科学学会学術集会 交流会 2023 年 12 月 9 日
- 5) 石原美和，松永早苗，柴田三奈子，前村聡．あなたが最期を迎えるなら，自宅がよいですか？病院がよいですか？～看護がつなぐ医療と暮らし～，東京財団政策研究所 ZOOM ウェビナー 2024 年 1 月 18 日
- 6) Fumika Yokoyama, Tomoko Yamanaka, Sanae Matsunaga. Nurse's Skills in Responding to Sudden Changes at Short-Term Facilities for the Elderly in Japan, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars. 2024 年 3 月 6 日
- 7) 日本国際看護学会理事，研究委員長（2020 年 10 月～現在）として，学会の運営並びに学会員の研究を支援する活動を実施した。
- 8) 日本国際看護学会 7 回学術集会実行委員として，日本国際看護学会第 7 回学術集会の企画と運営を行った。

8 学内教育活動

- 1) 感染管理認定看護師教育課程における感染管理学と相談（医療関連感染の予防と管理に関する施設内外での指導，指導計画の立案と評価，指導の 実際）12 時間（1 時間 45 分換算），卒業生フォローアップ研修：卒業生向けのフォローアップ研修を企画・実施した。感染管理認定看護師教育課程の専任教員の課程運営における支援を行った。
- 2) 認定看護管理者教育課程ファーストレベルにおける現象の概念化 I「研究の意義」4 コマ、現象の概念化 I「効果的なプレゼンテーション」4 コマを教授する。
- 3) 教員・教育担当者養成課程看護コースにおける看護研究概論「文献レビュー・事例研究」6 コマを教授した。
- 4) 令和 5 年度研究入門講座（全 5 日）の企画と運営を行った。

- 5) 令和 5 年度からの新規研修である研究チャレンジ講座を企画し、オンデマンド講義の講師、ゼミナール 5 回の講師を務めた（ゼミナール担当人数：11 名）。
- 6) 令和 4 年度の県の委託事業から令和 5 年度には実践教育センター独自の研修「令和 5 年度 福祉施設・在宅サービスにおける感染予防リーダー育成研修」へと変更し、福祉施設全般を対象とした感染予防リーダーを育成する研修の計画、実施を行った。
リーダー育成研修は 6 つの動画を作成してオンデマンド配信を行い、1 日の対面演習（3 クール）を実施した。オンデマンド講義の講師や演習の講師を務めた。
- 7) 大学院保健福祉学研究科博士前期課程の看護開発学特論、看護開発学演習の指導補助教員として講義や演習の運営を行った。

9 学内各種委員会活動

- 1) 実践研究担当課長の役割として、実践教育センターの研究事業について推進を進めた。実践教育センターにおける教職員の研究活動を推進する取り組みを実施した。
 - 2) 実践教育センター研究活動部会の運営：適宜会議を開催し、実践教育センターの教職員が研究成果を発表する研究成果共有会を 2 回実施した。計 6 名の教員が研究活動、教育活動を発表した。研究に関連する実践教育センターの取り組みを、ホームページで適宜紹介した。学生、教職員が研究に関する悩みや発表の相談が行える場として『リサーチカフェ』を 4 回実施した。4 月より教職員や学生が集い研究や学習に使用できる『リサーチコモンズ』の運用を開始した。
 - 3) 実践教育センターFD 部会の運営：教職員の教育の質を向上するために FD の企画と運営を行った。令和 5 年度のテーマを「成人学習者との関わり方」として、外部講師を招いての研修会 3 回、カリキュラム部会と共催した「実践教育センターの魅力を発信！ 教育事業を創造する会」を 2 回開催した。
 - 4) ヘルスイノベーション研究科との共催ワークショップの運営、ヘルスイノベーション研究科と NPO 法人まもるをまもると協働し、「ヘルスケア領域の困りごとを解決する」ピックアップのワークショップを開催した。
 - 5) 大学発ベンチャーの卒業生が集う「エコ会議」に参加し、企業支援についての情報交換を月 1 回、実施した。
 - 6) 感染管理認定看護師養成課程の入試委員会、教員会等の運営を行った。感染管理認定看護師教育課程（A 課程）のあり方を検討し、特定行為を含む B 課程への移行へむけての準備を開始した。
 - 7) ヒューマンサービスパーチャ委員として、委員会の運営に携わった。委員会は、横須賀キャンパス、川崎キャンパス、横浜キャンパスの教職員にて構成されており、ヒューマンサービスの概念を検討する会についての話し合いや、卒業生が集うヒューマンパーチャ創設にむけての調整を行った。実践教育センターにおける卒業生同士を、どのようにつなぐかを検討した。
 - 8) 令和 5 年度研究委員会に、オブザーバーとして参加した。大学の研究委員会での活動を、実践教育センターにおいて周知した。
 - 9) タイコンケン大学との合同カンファレンスにおいて、Workshops to create ways to solve problems in health care を紹介した（2024 年 1 月 31 日）。
- 10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 令和 2 年～令和 6 年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 C, 3,900 千円 (直接経費: 3,000 千円, 間接経費: 900 千円), 研究課題: 「高齢者ショートステイにおける急変時対応スキル育成のための基礎的研究」 主任研究者: 横山詞果, 分担研究者: 松永早苗.
- 2) 令和 4 年 7 月～令和 6 年 3 月 公益財団法人東京財団政策研究所研究助成 (1810 万円) 研究課題: 「看護がつなぐ医療と暮らし 在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究」 研究主幹: 石原美和, 主席研究員: 松永早苗, 渡邊千登世.
- 3) 令和 4 年～令和 7 年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 C, 3,640 千円 (直接経費: 2,800 千円, 間接経費: 840 千円), 研究課題: 「感染症による偏見・差別をなくすヘルスリテラシー向上のための基礎的研究」 主任研究者: 松永早苗, 分担研究者: 石原美和.

11 学内研究助成金の受託

なし

12 受賞

- 1) 松永早苗, 黒木利恵, 石原美和. 令和 5 年度神奈川県保健福祉事務所等所長会表彰, 神奈川県公衆衛生協会, 研究テーマ: 高齢者福祉施設等のスタッフが抱く感染対策への疑問, 2023 年 11 月.

13 特許など

なし

14 その他

- 1) 独立行政法人国際協力機構青年海外事務局・JICA 海外協力隊技術専門委員として派遣隊員の選考に関わった.